

御代田町政に関する詳細ブリーフィング資料

2025/08/10

本ブリーフィング資料は、提供された複数の情報源に基づき、御代田町政における主要な問題点、テーマ、および重要な事実を包括的にレビューしたものです。引用符内のテキストは、元の資料からの直接引用を示します。

I. 町長のリーダーシップと意思決定の透明性の問題

御代田町長のリーダーシップと意思決定プロセスには、透明性の欠如、独断専行、および特定の団体への便宜供与が顕著に指摘されています。

旧庁舎跡地利用の不透明な決定町長は「一般社団法人 御代田の根」と連携し、旧庁舎跡地に「子供の居場所（みよたの広場）」を建設していますが、この決定は「御代田町民に打診なく、旧庁舎跡地を『御代田の根』に貸す事を町長が決めたことを町民の殆どが知りません。」[001]。町民からは「今すぐ建設をストップし、町民と話し合うべき」[001]、さらには「町と御代田の根が共同記者会見して、説明会やって、町民の合意形成を図った上で進めるべきだった」[044]との声が上がっています。

この事業には日本財団からの約 6,000 万円の助成金が使用されていますが、申請過程で町長による「公印の不正使用」や「決裁文書の不存在」が指摘されており、これは「重大なコンプライアンス違反」または「公印不正使用罪に該当する」可能性が示唆されています [001, 057, 060, 063, 065, 066, 085, 106, 107, 109, 116, 126, 127, 128, 133, 134, 136, 137, 138, 152, 153, 161, 164, 165, 166, 168, 180, 181, 190, 193, 194, 199, 204, 212, 215, 247, 276]。

随意契約の多用と癒着の疑義「みよたんクエスト」「ふるさと未来設計室」「みよたの町民 note」などの業務が「入札なしで発注」されており、特定の移住者や団体に便宜が図られているとの疑念があります [005, 008, 013, 023]。特に「みよたの町民 note」は「随意契約の上限を超える金額で継続されている」[023]にもかかわらず、その理由が不明瞭であると指摘されています。

町長と「御代田の根」の関係は「密接に繋がっている」[009]とされ、住民からは「彼らは御代田を乗っ取ろうとしている気がしてなりません」[009]といった強い不信感が表明されています。

自己中心的な行動と虚偽答弁町長の行動は「自己プロモーション町長」[275]や「承認欲求を満たすため」[121]と見なされ、「独裁者」[012, 069]と称されることもあります。

町民の意見を SNS で「削除したりブロックする」[040, 209]、批判を「誹謗中傷」

[237]と見なすなど、町民の声に耳を傾けない姿勢が指摘されています。

議会での答弁が事実と矛盾し「虚偽答弁」[136, 139, 145, 153, 194]と疑われるケースが複数指摘されています。「ご飯論法」[126, 133]や「きな粉餅論法」[128]に例えられています。

II. 住民の信頼崩壊と地域社会の分断

町長の政策と行動は、地元住民と移住者間の分断を深め、町行政に対する住民の信頼を大きく損ねています。

公約違反と住民への裏切り町長は「県下一の教育のまちにするとっていました」

[028]、「自分の娘も中学受験は経験させるが、御代田中学校に通わせる」[028]と公言しながら、実際には「長女が第一志望の東京の学校に受かりました！」[028]と報告しており、町民は「私たちは裏切られた」[028]と感じています。

公私混同と倫理観の欠如ふるさと大使の安藤千伽奈氏に対する「お気に入り」[005]による個人的な「押し活」が公務として行われている疑惑が多数指摘されています。これには「指輪のプレゼント」[015, 021, 054, 056, 125, 129, 143, 155, 166, 168, 180, 194, 247, 278]、「公用車や職員を使っでの送迎」[052]、「災害対策本部長でありなが

ら私的な舞台鑑賞」[016, 020, 022]などが含まれます。

町長室が「ゴミ屋敷」[003, 007, 015, 039]のようだと指摘されることも、その品性の欠如を示すものとして挙げられています。

喫茶店での「無銭飲食」[030]や給食費を払わない行為[104]など、税金への敬意の欠如も指摘されています。

移住者優遇政策への不満と地域社会の分断「移住者が優遇されはじめています」[013]、自治会に所属しない新移住者団体への「裏工作で支援」[013]、「移住者が経営する会社に家賃補助」[013]など、「あからさまな移住者優遇」[018]が地元住民の不満を招いています。

一部の町民は、町長が「御代田町民を見下して」[012]いると感じており、これは「独裁政治」[012]ではないかとの懸念も表明されています。

町長や「御代田の根」の関係者が「都会的な完成を御代田に持ち込んで、御代田を変えようとしているが、地元民には迷惑だけな話」[002]と受け止められ、長年住む住民の愛着や歴史が軽視されているとの不満が高まっています [048, 050]。

移住者の中には「マナー違反」[072, 090, 095, 167]や「遵法意識」の欠如[037]が指摘される者もあり、「御代田に愛着がない」[035]、「土足で踏み荒らす」[090]といった批判も寄せられています。

III. 町の機能と職員環境への深刻な影響

町長のリーダーシップは、役場の機能不全、職員の士気低下、そして深刻な人手不足を引き起こしています。

職員の大量退職と士気の低下この4年間で「公金で育ててきた行政運営を担う有望な職員をたくさん失い、御代田町の信頼や評判を失い」[006]、「悪夢であれば醒めてほしい」[006]といった後悔の声が上がっています。

「パワハラ」[015, 017, 019, 031, 038, 047, 053, 061, 069, 108, 110, 115, 123, 170, 230, 234, 241, 242, 251, 254, 276, 278]や「セクハラ」[017, 031, 053, 069, 115, 170, 234, 278]が横行し、多くの職員が退職や長期療養に追い込まれていると指摘されています。「辞められた職員にも勿論、家族や子供等養う人がいて人生を狂わされた方だっている」[014]。

「数名しか人員配置されずに業務に支障が出ている課がいくつもあります」[010]とされ、職員の士気は低く、「休暇もまともに取得できず、新人職員のフォローもままならない状態」[010]も報告されています。

「行政運営を担う有望な人材」[006]が失われ、町は「深刻な人手不足」[031, 217]に陥り、有料の求人広告を出す事態になっています [217, 219]。

行政のガバナンス不全「町長や内堀豊彦副町長、白い巨塔から理不尽な扱いを受けている職員の方々」[038]が存在し、「町の行政マネジメントやガバナンスは、まったく機能していない！」[031]と強く批判されています。

町長の「人員配置に疑問」[010]があり、直轄課に人員が偏重されている一方で、他の課では業務に支障が出ている状況です [010]。

町長の「お気に入り」職員の昇格や異動、さらには「町議の身内が役場職員として勤務を始めた」[024]など、「コネ採用」[024, 101, 162, 248]の疑惑も指摘されています。

役場内で女性議員や女性職員に対する「女性蔑視」発言が横行しているという指摘もあり、それが女性職員の離職につながっている可能性も示唆されています [234]。

IV. 「みよたの広場」運営における問題と批判

「みよたの広場」は子どもたちの居場所とされていますが、その運営には安全性、目的の曖昧さ、および不透明な資金運用に関する深刻な問題が指摘されています。

安全性への懸念「重機を子どもの側で動かす」「手作りの遊具、手作りのストーブ」[047]など、「非常に危険な環境」[047, 048, 090, 157, 175, 196]であると指摘されてい

ます。

マツキヨ駐車場や役場の敷地を横断する「ショートカット」[070, 071, 072, 095]が常態化しており、「駐車場で事故になりそう」[046]といった事故の危険性やマナー違反が問題視されています。

夜間の「焚き火や花火」[0025]、「けむたい」[245]といった近隣住民への迷惑行為も報告されています。

事業目的の曖昧さ『『貧困とは何か』を全く無視して行われている事業」[047]であり、実際は運営者の「虚栄心を満たすためのお遊びで作ったテーマパーク」[047]とまで言われています。

平日は「スタッフ居ない」[175]、「真っ暗なみよたの広場」[147]で「子どもたちの居場所」[175]としての機能が果たされていないとの指摘もあります。

多額の助成金が使われているにもかかわらず、目的が「コロコロ変わり」[082]、「完成しない場所」[060, 082]とまで言われる状況に、その資金の使途に対する疑問の声が上がっています。

不透明な資金運用と関係者の姿勢「約 6,000 万円という多額の助成金を使って進めている事」[048]に呆れが示されています。

「助成金獲得のプロが事務局」[082]でありながら、「姑息で汚すぎる」[082]方法で助成金を返還せずに済まそうとしているとの批判もあります。

関係者の車両が「県外ナンバー」[037]であり、組織名に「根」[048]とつけていながら「御代田に定着するつもりは毛頭ない」[048]といった、地域へのコミットメントの欠如も指摘されています。

「御代田の根」の関係者が申告会場で「課税義務があるにもかかわらず、3 年後には御代田町の物になるのだから収める必要はないというウルトラ屁理屈を主張」[258]しているとの報告もあります。

V. 町議会の機能不全と住民の不満

町議会は町長への監視機能を果たしておらず、町民の代表としての役割を放棄しているとの強い批判があります。

監視機能の欠如町長の不正に対する「問責決議案が否決」[073, 094, 149]されたことで、「議会が機能していない」[160]、「町民の多くが議会が機能していない、あるいは町長と癒着していると失望」[073, 074, 149]しており、行政ガバナンスの構造的崩壊が示唆されています。

「わずか2名の議員しか不正を追及しない」[073, 094, 135, 144, 149]という状況に、多くの町民が失望しています。

町民は「百条委員会開催及び小園拓志町長の不信任決議案提出を請願」[049]する事態に至っていますが、議会での設置は「無理そう」[144]との見方が示されています。

議員の姿勢と行動への批判議員の多くが「町民の代弁者でも何でもなし」[015, 074]と見なされ、「税金でお小遣い稼ぎ」[015, 074]をしているとまで言われています。

一部の議員が「コネで役場に入れてやった」[024]と吹聴したり、自身の「私利私欲」[075]のために議員の権力を使っていると批判されています。

町長の不正に対して「見て見ぬフリ」[074, 075, 160]をする議員が多いとされています。

町長を擁護する議員が「公職選挙法に引っかからないんですかね？」[205]と、町長の選挙活動を協力していることが指摘されています。

選挙でトップ当選した尾関充紗議員が「嘘つき」[150]、「裏切り」[151]と批判され、町長や疑惑の事業者との「仲がいい」[156]といった「ズブズブ」[146]な関係が指摘されています。

VI. その他具体的な問題

新型コロナウイルス対応と危機管理の甘さ新型コロナウイルス感染症の「対応の遅さ」[031, 045]や、浅間山の噴火警戒レベルに関する不正確な情報発信[272, 273]など、町長の危機管理意識の欠如が指摘されています。「町民に控えろといいながら、小園さんのしている事があまりに腹立たしくて、これ以上御代田町にいて欲しくくないです。」[016]

施設管理・環境整備の不備役場ロビーや町長室の「ゴミ屋敷」[007, 039]のような環境悪化、町の道路の「雑草だらけ」[039, 042, 096]による景観の損なわれなど、公共施設の管理不足が指摘されています。

財政・公金使用の疑義「切手でふるさと納税」[003, 034, 191]における「転売疑惑」[003]や、町長が自腹で買って町が寄付したことにしているという「疑念」[034]があります。

職員への「半ば強制的に納税を迫った」[112]といったパワハラ行為も指摘されています。

ふるさと納税の使途、特に前澤友作氏からの 500 万円の寄付金の「使途不明」[218, 247]に関する疑問が呈されています。

選挙関連の不正行為選挙期間外の「戸別訪問」[098, 099, 101, 180, 182, 183, 201, 202, 203, 205, 228, 229, 244]が公職選挙法違反であるとの指摘が複数寄せられており、警

察への通報が促されています。

「後援会勧誘チラシ」[201, 202, 203, 213, 215, 251]が禁止されている「事前運動に抵触している」[201]可能性も指摘されています。

VII. 町政改善への提言

御代田町の行政運営を改善し、住民の信頼を回復するためには、町長、役場、議会、そして町民それぞれが具体的な行動を取ることが不可欠です。

町長の責任と行動公印不正使用やその他疑惑について、広報誌を通じて全町民へ公式な説明と謝罪を行うべきです [106, 107]。

公務活動記録、交際費、公約の進捗状況などを「透明性高く公開」[113, 124]し、説明責任を果たすべきです。

パワハラやセクハラ行為を直ちに停止し、「第三者によるパワハラ実態調査」[254]を実施し、被害者へのケアと加害者への厳正な処分を行うべきです [218, 242]。

特定の団体（御代田の根）への不透明な便宜供与を停止し、「みよたの広場」の建設を中止し、町民との合意形成を図るべきです [001, 044]。

役場職員の行動パワハラ・セクハラの被害を受けている職員は、「信頼できる同僚、外

部の相談窓口、または正義感を持つ議員」[055]に相談すべきです。

法令違反の指示に対しては、「決裁文書の有無を確認し、上長や関係部署に疑問を呈すべき」[109, 161]です。

不正行為や犯罪につながる事案については、「真実を知る職員は隠蔽に加担せず、然るべき先に情報提供すべき」[055]です。

町議会の行動町長の不正疑惑に対し、「百条委員会を速やかに開催し、徹底的な調査を行うべき」[049, 144, 218]です。

町長の問責決議案を否決した経緯について、「町民に納得のいく説明を行うべき」[073, 074]です。

「町民の意見や要望を真摯に受け止め、町政に反映させるべき」[006, 011, 014, 038, 040, 081, 092, 097, 103, 113, 216, 222]です。

議会が自浄作用を発揮できない場合、「捜査機関、弁護士協会、県庁の監査部、総務省、そしてマスコミなどに、御代田町の現状や小園拓志町長の犯罪をリークすればいい。通報祭りです！」[086]と住民に促されています。

町民の行動「町の情報と議論の経緯を積極的に収集」[081, 092, 107, 117]し、「行政相談週間やオンラインフォームなど、様々な機会を活用し、町に直接意見や苦情を伝え

るべき」[092]です。

公職選挙法違反が疑われる場合は、「警察（#9110 または佐久警察署：0267-68-0110）や選挙管理委員会に積極的に通報すべき」[099, 100, 101, 202, 215]です。

次期町長選挙や町議会議員選挙では、「候補者の過去の行動や町政に対する姿勢を厳しく評価し、不正を許さず、町民に寄り添い、町政を健全に運営できる人物に投票すべき」[118, 149, 216, 252]です。

これらの問題は単なる個別の違反行為にとどまらず、行政ガバナンスの構造的崩壊を示唆しており、御代田町の健全な行政運営と住民からの信頼回復に向けて、徹底した事実解明と制度改革が喫緊の課題であることが強調されています。